

令和7年産水稻の作柄について

(生育状況)

本年産の水稻は、分けつ期に当たる6月上中旬が日照不足で推移したことによって分けつが抑制され、穂数がやや少なかったものの、7月下旬以降、多照で推移したことにより、1穂当たりもみ数がやや多かったため、全もみ数は「前年並み」となった。また、出穂期以降、おおむね天候に恵まれたことにより、千もみ当たり収量も「前年並み」となった。

(予想収量 511kg/10a、作況単収指数 100 12月12日公表 関東農政局作物統計調査)

(被害の発生状況)

山間地を中心にシカやイノシシによる食害や踏み倒しが発生した。また、8月の局地的な大雨、並びに9月4日から5日の台風15号の影響による大雨等により、倒伏等が発生した。いもち病の発生は少なかったが、一部地域でもみ枯れ細菌病、内穎褐変病の発生が見られた。このほか、一部地域において、スズメによる食害、カメムシの吸汁による被害が発生した。

災害名	被害戸数(戸)	被害面積(a)	共済減収量(kg)	地域名
風水害	19	386.7	3,478	甲府市、身延町、韮崎市、北杜市
病害	18	339.7	2,569	市川三郷町、身延町、富士川町、中央市、甲斐市、北杜市、道志村等
鳥害	1	4.1	42	富士吉田市
獣害	61	929.3	10,741	甲府市、身延町、甲斐市、韮崎市、北杜市、都留市、富士吉田市等
虫害	1	3.1	25	道志村
合計	100	1,662.9	16,855	